

学力向上に向けた取組

函館市立神山小学校

1 課題

- 基礎的・基本的な知識の習得と活用する力の育成
- 望ましい学習態度の育成

2 課題解決の具体策

- (1) 問題解決的な学習における言語活動を重視した指導方法の工夫
- (2) 校内学力向上特別委員会とPTA家庭教育特別委員会との連携

3 取組の概要

- (1) 問題解決的な学習における言語活動を重視した指導方法の工夫
 - ① ヒントコーナーを設置し、多様な考えを導き出す支援の工夫
 - 児童の考えをヒントコーナーに掲示し、どの子も参考にできるようにする。全てを書くのではなく、ヒントとなるポイントを発信者は考え、受信者はその意図を探る。また、ヒントを見にいった子ども同士の「つぶやき」「かかわり」も期待している。
 - ヒントを書いた子だけではなく、他の子にも説明してもらおう。その考えが分かる複数の子によるリレー式の説明も考えられる。
 - ② 必要な情報を取捨選択して理由を述べる、「表現する力」を高める問題（活用する力を高める問題）の開発。
 - 例：「～果たして、兄の計算は正しいのでしょうか？」
- (2) 校内学力向上委員会とPTA家庭教育特別委員会との連携
 - 学習常規の策定と教室での掲示
 - 望ましい生活・学習習慣の定着に向けた習慣シートの作成と取り組み強調週間の実施
 - 「家庭学習のてびき」の見直し
 - ・家庭学習の習慣化や内容の充実を目指し、低・中・高学年ごとのポイントや学習例等を示している。

4 成果と課題

- 言語活動を重視した指導の工夫により、思考力・判断力・表現力を高めることができた。また、本校の全国学力量習状況調査の問題において、国語・算数ともに正答率が高まるとともに、無回答率が低下した。
- 学習意欲の更なる喚起を図る「学び合い・高め合う授業」の工夫。
- 「家庭学習のてびき」を活用した保護者との連携強化と児童への継続した指導。
- 活用する力を高めるチャレンジテスト問題の開発と活用。